

なんもく 山村ぐらし通信

第4回移住者との交流会が開催されました！



次々に運ばれてくる料理に舌鼓

平成29年2月25日(土)午後6時。大日向地区に開店して今年で二年目を迎えるなんもく村のちよつとしたカフェにおいて、南牧山村ぐらし支援協議会主催の「移住者との交流会」が開催されました。今回で

4回目となるこの交流会は、主催者側の手際の良さもあってか、終始大変賑やかに、そしてアットホームな雰囲気の中行われました。移住歴三年以内の移住者16名と協議会会員12名の総勢28名が、配置に苦労の跡が見える幾何学模様になったテーブルの指定席につくと、彩り豊かな品々が並べられていました。南牧では珍しくお品書きが添えられており、カフェ側の気配りを感じられ、みな感心していました。作り手の思いを感じながら味わう料理。なかなか良いものだと思

突然振られた乾杯の指名にたじろぐ元協力隊員の音頭を皮切りに、南牧村の素材が使われている美味しい料理を頂きながら、しばしの歓談タイム。南牧村に移住してきた経緯や南牧村に對する想いを聞くことができました。昨年末に移住された方からは「第一子ご誕生！」というとてもおめで



名前当てクイズの為にやって来た！
怪傑・アメチャンマン

がぁんなに盛り上がると思ひもせませんでした。2月下旬にはありましたが、部屋の中は大変暖かく、外の寒さなどみじんも感じさせないくらいの熱気であふれていました。

群馬の片田舎に移住し、ここで暮らしていくというのは風土も慣習も違う人々にとって大変エネルギーのいることであり、また不安もあることと思います。そんな方々が、より地域に溶け込めるように開催されるこの交流会。とても有意義であり、継続していくべきだと感じました。新たな顔ぶれをとことんもてなそうという空気感に包まれ、とてもほんわかした気持ちになりました。



ちよつとしたcafeからごあいさつ
～オーナー・加藤有希さん～

予想以上にたくさんの方々に参加され、カフェにとっても初めての大人数様での宴会だった為、不手際や至らないところもあったかと思ひますが、会場となった古民家カフェの色んな所から聴こえてくる皆さんの楽しそうな声が、古民家の部屋いっぱい満ちたように感じました。このような機会を通して、これからもどんどん良い繋がりができていくと良いなと思ひます。皆さんの交流の場として利用いただき、ありがとうございました。

2017(平成29)年5月発行
通巻第21号版(春季号)

発行責任者及び発行元：
南牧山村ぐらし支援協議会
問合せ：南牧村役場
村づくり・雇用推進課
協議会事務局
電話：0274-87-2011(代)

紙面編集：広報FM



協議会QRコード

協議会HP
<http://nanmoku.org/>
古民家バンク情報がサイトに
内に移設されました。

【28年度1～3月 空家問合件数】

電話による問合せ	8件
1月	2件
2月	3件
3月	3件
メール・手紙・FAXでの 問合せ	14件
1月	4件
2月	6件
3月	4件
現地物件見学案内	10件
1月	1件
2月	3件
3月	6件

【協議会ウェブサイト 訪問・閲覧状況報告】

※1/25～(約3ヵ月間)

ページ閲覧数	71,398
サイト訪問数	5,602
サイト訪問者数	3,390 (同一人は1とカウント)
平均ページ閲覧数	1訪問当り12.7ページ

村人(むらびと)紹介

素敵な笑顔の岩井麻希さん
Uターンして、もう1年が経ちました。

村外に住んで8年。人口が減り、母校がなくなり、高齢化率日本一と紹介される故郷の姿を悲しく思いつつも、その人口減少に手を貸した一人なのだ感じていました。農業高校出身なので、荒れた畑を見てはもったいないな・・・と考



「高齢者住宅いこい」で頑張ってるーす！

え、いつか南牧に帰る時のために勉強していました。が、実際には難しい面が多く、なかなか動き出すことができないでいた私。あるとき村外出身の方が、自然の力を借り、野菜を育てているのを知り、とてもショックを受けました。それと同時に、村出身なのにい

去年の12月10日には東京有楽町、年が明けて2月4日には銀座に、そして3月5日には再び有楽町に・・・協議会メンバーと役場事務局の「黄金タッグ」が、村への移住をアピールすべく参加してきました。古民家バンクや求人に関する資料、また村内の子育て環境についての情報を事務局が提供、村での生活や実際の移住に関する情報や移住後の様子を協議会メンバーが説明。移住に向けた良

【都内で行われた移住相談会に参加！】 有楽町～銀座～有楽町の3連発！

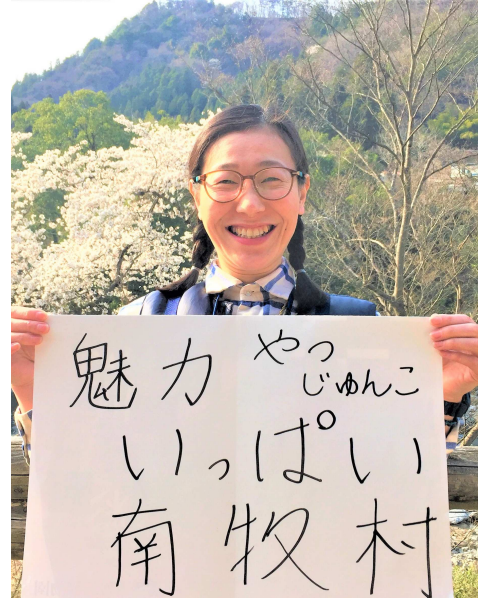


実際に村を訪れたことがあるという知らせを聞くことも多くこちらにも熱が入ります。



いきっかけになればと思います。次回(6月10日)に東京銀座「やんまちゃん家」において開催予定です。南牧村も参加予定！

NEW!! 協議会メンバー紹介



4月から地域おこし協力隊として南牧村に来ました。やつです!!

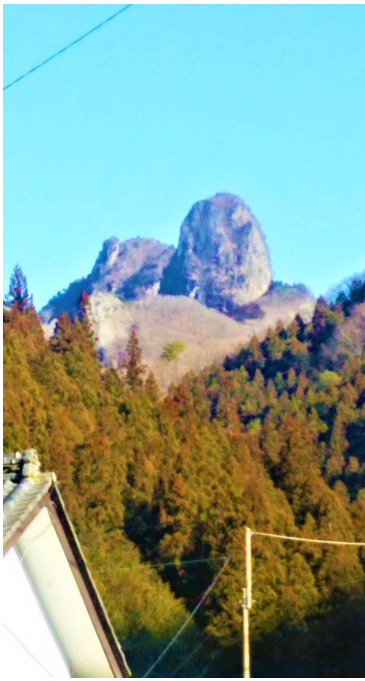
『ぶらりなんせく村』

見る場所をかえれば

新緑の季節を迎え、過「岳」は写真①が一番見慣れやすい季節になりつ、れている姿です。ラクダツあります。南牧村には、のユブのような形が特徴トレッキングが楽しめる、とされていいる鹿岳です山々がいくつもありますが、見る角度や距離をか、見る場所をかえると、えることにより、写真②同じ山でも、まるで違つや写真③のように見えまた山に見えます。今回は、目線を少し変えるだ南牧村と下仁田町にまた、けで新しい発見ができるる標高一〇一五メートル、ので、ぶらぶらしながらルの鹿岳「かなたけ」一、再発見をしていきたいと思にスポットを当ててみま、います。私にとつての、鹿くほとけのヒロシ担当く



②高原運動場より



①大塩沢地区より



③下仁田町より

高知にて 先進地視察研修会

3月16日～18日の3日間、高知県(自伐型林業と株)大宮産業の視察に協議会メンバー4名も参加してきました。



自伐型林業の現地視察

自伐型林業

自伐型林業とは、採算性と環境保全を高い次元で両立する持続的森林経営です。参入障壁が非常に低く、幅広い就労を実現します。今、国土の7割を占める山林を活用する「地方創生の鍵」として期待され、全国各地で広がっています。NPO法人自伐型林業推進協会HPより転載)

森林経営・管理・施行を自ら行う林業であり、これまで森林組合や業者へ管理を委託していた方法とは一線を画している。初期費用は300～500万円程度の低機械投資「チェンソー、ミニバックホー、林内作業車、軽トラック等」であり、住民参加(就労)のハードルが低いのが特徴。

株)大宮産業

大宮住民のための、大宮住民による会社」愛媛県との県境に位置する大宮地区。四万十川の支流である目黒川に沿って家屋が点在する山間の集落です。現在の人口は約300人、稲作を主にした農業が営まれています。この集落のほぼ中心に建つのが、小さなガソリンスタンドが併設された株)大宮産業。住民の出資によって設立された集落の人たちの暮らしを第一に考えて作られた共同売店です。



研修会の様子



(株)大宮産業

研修を終えて

協議会メンバーの声

3月16日より高知県への視察研修に参加させて頂きました。四国は過疎・高齢化対策等の先進地と言われている色んな施策も行われていました。文字数の関係もあり、ここでは全ての視察内容を具体的に書くことは出来ませんが、地域活性化に対する住民の姿勢や施策など普段南牧村で生活しているだけでは経験または発想できないような事を学ぶことができました。それぞれの地域で事情は異なることも多いですが、この村にも取り入れれば良いと思える物がいくつも感じることができた有意義な3日間を過ごさせて頂きました。申沢特派員)

神戸特派員)

五十嵐特派員)

南牧村から約800キロ離れた場所にある日本一の森林県と呼ばれる高知県へはるばる視察研修へ行ってまいりました。人工林杉(株)の自伐型林業を推進している町と、地域住民により持続可能な地域づくりを目的とした取り組みを株式会社という形で10年に渡り続けておられる小さな山奥の地区の2カ所が視察研修先でした。似たような課題に対して取り組みを行っている場所には「現実的」な状況や情報があり、見聞きできたことはとても貴重な機会でした。又、同じ目的や関心をもった方々と巡る視察研修会では研修中になされる会話がとても将来的で、先を見据えて物事を考えるといった点において、とても有意義な時間だなど感じました。また今回のような機会があれば是非参加して今後の生活意識に役立たせていければとおもっております。

高知県佐川町へは自伐型林業、四万十市へは株)大宮産業の視察に行かせていただきました。視察先の方々には、とても熱心に詳細にお話をしていただき、取り組みはもちろんその人柄も魅力的でした。一緒にまわらせて頂いた村の方々が、どのように印象を受けたのかお話をさせていただき、良い機会にもなり、終わってしまうと、あつというまの3日間でした。同じような現状におかれている南牧村に移住して、1年経ったばかりの私が、この課題に対してどう関わっていけるかわかりませんが、今回、貴重な経験をさせて頂いたことをプラスにできるよ、村の方々にもお話を聞きつつ考えていきたいと思、います。植田特派員)

新メンバー募集!

南牧山村ぐらし支援協議会では、一緒に南牧村の未来を創り上げる新たなメンバーを募集しています。現在の主な活動は、空き家の調査や案内、山村ぐらし通信の発行、ホームページの更新、求人情報の提供、相談会の参加などです。活動にご興味ある方、おらが村のためにひと肌ぬいでもくださる方、ぜひ事務局までお問い合わせ下さい。電話) 0274・87・2011